

⚠ 注意と警告

※ご使用前に必ずお読みください。

- 本製品は、道路運送車両の保安基準に抵触しないよう以下の場所には絶対に取付けないでください。
- ※運転者前方視界の妨げになる場所。(詳しくは、弊社 HP の前方視界基準の説明ページをご確認ください。
<https://www.seikosangyo.co.jp/exea/fronttv/>)
- ※突起物として危険の生じる場所 (チャイルドシートの正面)
- ※万一落下した場合に運転者の操作の妨げになる場所。
- ※安全装置 (エアバッグ・シートベルトなど) の作動・効果を妨げる場所やステアリング付近。
- 本製品または収納物がステアリングと接近して運転操作の妨げになる場合。(十分な距離が確保できない・調節できない場合。)
- お車の形状や素材により、取付けできない場合があります。※必ず、機器を収納する前に、本製品の取付け状態を確認してからご使用ください。
- 本製品が周辺と干渉の可能性がある場合は使用しないでください。
- 収納する機器の形状によって安定したホールドができない場合は使用しないでください。
- スマートフォンにカバーやケースなど装着している場合、機器が不安定になり落下のおそれがあります。
- ※外すなどして、ご使用になる機器が安定することをご確認のうえ、ご使用ください。
- 運転中に本製品やご使用になる機器の操作は大変危険ですのでおやめください。※必ず車を安全な場所へ停車させてから接続・操作などをおこなってください。
- 走行中の激しい振動により、ご使用になる機器が落下する場合があります。※不整地や路面の悪い道路を走行する場合は、本製品の使用を中止してください。
収納物が落下し、事故につながる危険があります。
- ※急発進・急ハンドル・急停止でも、収納物が落下するおそれがありますので十分ご注意ください。
- 収納物は振動や出入れでキズつくおそれがあります。キズつけないものは入れないでください。
- 直射日光や高温になる場所でのご使用は、本製品および車両側や接続機器の故障、破損の原因となります。
- 炎天下の車内でご使用になる機器を放置しないでください。※熱による製品本体、ご使用になる機器が、変形・破損・故障のおそれがありますのでご注意ください。
- 本製品、並びに収納物を取付ける際やご使用中の落下、車両側に使用前との差異が生じた場合の損害 (破損・キズ・変色・跡など) は、弊社では責任・補償を負いかねます。
- 取付ける前に必ず滑り止めシートをアシストグリップに巻いてください。グリップの安定した取付けができない場合があります。
- ※滑り止めシートをご使用にならない場合、アシストグリップに締め付け跡やネジ跡がつく場合があります。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用になれません。
- 本製品による取付けた機器の破損・消失 (ご使用になる機器のメモリー・データ) に関して、弊社では責任を負いかねます。
- ※必ずバックアップデータを記録するように心掛けてください。
- 本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け・分解・改造をされた際の事故・故障・損害につきましては、弊社では一切その責任を負いかねます。

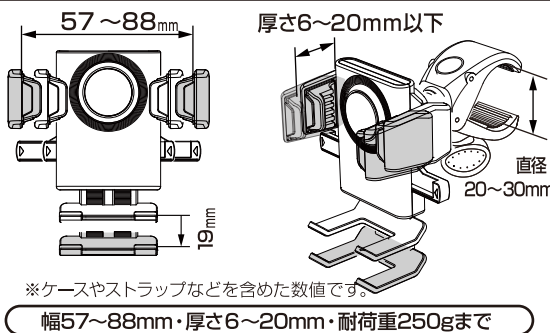
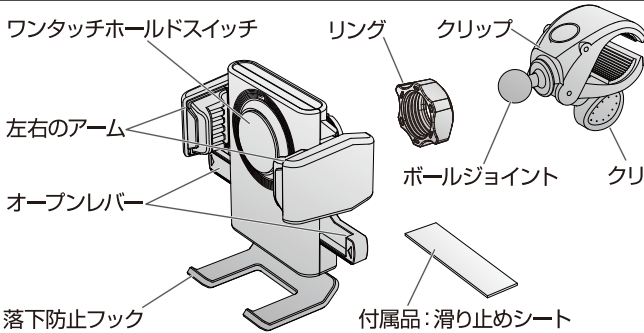


取付け前に

- 収納するスマートフォンの大きさに合わせて角度を調整し、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ずおこなってください。
- 収納するスマートフォンの形状によって安定したホールドができない場合は使用しないでください。
- 本製品を取付け使用の際、車両側に使用前との変化が生じた場合の故障、損害 (破損・キズ・変色・跡など) は弊社では責任、補償を負いかねます。
- 走行中の激しい振動により、ご使用になるスマートフォンが落下する場合があります。
- 経年車の場合は劣化による破損や脱落のおそれがありますので取付けできません。
- 取付け作業は、必ずお車を停止させ、エンジンを切った状態でおこなってください。



部品一覧と名称、取付け寸法について

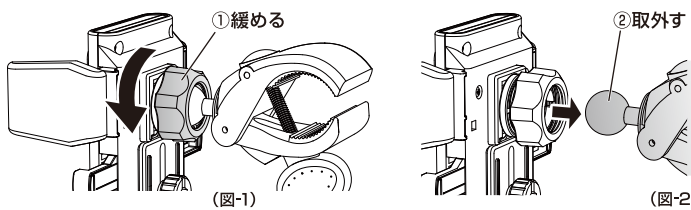


製品の取扱い方

1. 製品の取外し

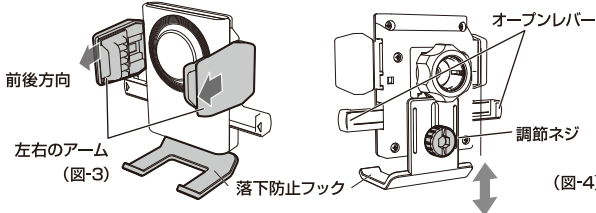
- 本製品の取扱い前にホルダーからクリップを取外してください。
- 次の手順でホルダーから取外します。
 - ① リングを緩める。(図-1)
 - ② クリップをボール受けから取外す。(図-2)

※製品の組立てはステップ①と逆手順でおこなってください。

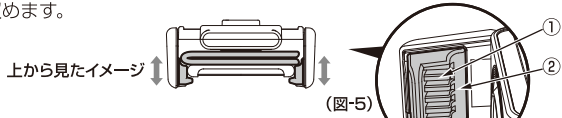


2. ホルダー調節について

- スマートフォンに合わせて「左右アームの厚み」と「落下防止フックの高さ」を調節してください。
- 厚みの調節は、左右のアームを前後にスライドさせてください。(図-3)
- 落下防止フックの高さ調節をおこなう時は、背面の調節ネジを緩め、任意の高さで固定してください。(図-4)

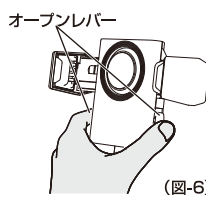


- 左右のアームの厚み調節ポイント (図-5)
 - ① スマートフォンの側面がゴムひだ部に当たるように調節します。
 - ② 手帳型ケースの場合は、ケースの出っ張り部をひだの無い凹んだ部分に収めます。



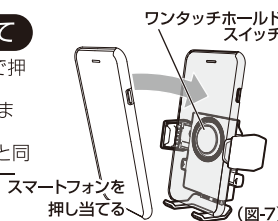
3. スマートフォンの収納について

- 左右のオープンレバーを本体の根本まで押し込んでください。(図-6)
- 左右のアームが全開し、中央のホールドスイッチが約2mm出でます。
- カチッという音と同時に左右のアームが固定され、ワンタッチホルダーの待機状態になります。
- スマートフォンを中央のホールドスイッチに押し当てると、左右のアームが閉じてホールドします。(図-7)



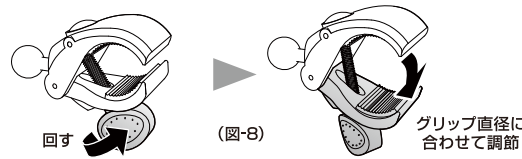
4. スマートフォンの取外しについて

- 左右のオープンレバーを本体の根本まで押し込んでください。(図-6)
- ※スマートフォンが落下するおそれがありますので、必ず両手を使ってください。
- 左右のアームが全開し、カチッという音と同時に固定されると、次回のワンタッチホールド待機状態になります。



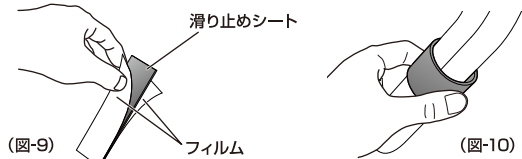
5. グリップ調節について

- 車両側のアシストグリップの直径に合わせて開閉幅を調整してください。(図-8)



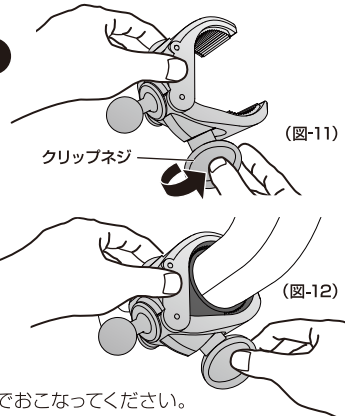
6. 滑り止めシートの取付けについて

- 滑り止めシートの両面に付いているフィルムをはがしてください。(図-9)
- グリップを取付ける位置に予めシートをアシストグリップに巻いてください。(図-10)
- 滑り止めシートはグリップネジによるキズ防止も兼ねています。必ず取付けてください。



7. クリップ取付けについて

- 本製品のクリップネジを回してアシストグリップにクリップを取付けてください。
※落下の危険性があります。作業は必ず両手でおこなってください。(図-11-12)



8. ホルダーの取付け

- 「1. 製品の取外し」を逆手順でおこなってください。